

「(仮称) 第3次奈良県エネルギービジョン(案)」に関する 【資料1】 意見募集(パブリックコメント)結果について

パブリックコメント結果について

◎パブリックコメントの実施(平成30年12月26日～1月24日) ⇒ 4名18件の意見・要望

▽意見の内訳

○エネルギービジョンに関する意見	2件
◇今後の取組に関する意見・要望	16件

○エネルギービジョンに関する意見

意見

◎エネルギービジョンの基本目標「2021年 再生可能エネルギーによる電力自給率22%」について (2017年 20.3%)

- ・再生可能エネルギーの電力自給率を50%以上とする目標を掲げ、エネルギーの地産地消を目指してほしい

◎目標設定について

- ・過去の実績から推計する目標値ではなく、エネルギー自給率の向上を目指す意欲的な目標値としてほしい

県の考え方

・再生可能エネルギーによる電力自給率については、再生可能エネルギー導入量の増加は鈍化すると思われることを踏まえ、国のエネルギー基本計画で示されている電源構成(エネルギーミックス)での再生可能エネルギーの割合を一つの目安として、計画期間の3年間で目指す目標値として22%に設定

・過去の実績から推計で設定しているのは太陽熱利用システム、エネファーム及びコージェネレーションシステムの目標であり、これまでの増加傾向を今後も維持するという観点から設定

◇今後の取組に関する意見・要望

意見・要望

- ・より積極的な地産地消エネルギーの推進を願いたい
- ・天川村の木質バイオマス先進事例を他市町村へ波及してほしい
- ・燃料電池自動車(FCV)普及のため、県が公共の立場でFCVを率先して導入することを期待する
- ・家庭・事業所等の自立分散型エネルギーの導入に対して積極的な支援を要望する
- ・エネルギーをかしこく使うライフスタイルを推進するために、正しい情報を消費者に届ける学習会や相談会等の開催を検討ください

県の考え方

- ・今後のビジョンを推進していく上での参考とする

意見・要望

- ・農業廃棄物のメタン発酵による燃料用メタンの活用を要望する
- ・有機農業を志す農家や家庭菜園で、メタン発酵後に発生する消化液(液肥)について販路開拓できないか

県の考え方

- ・メタン発酵については技術的な課題が多いと聞いており、今後の技術開発などを注視する
- ・産業振興等の他の施策の一環として考慮すべき課題と考え、意見を関係部局に伝える

上記を踏まえ、**原案のとおりエネルギービジョンを策定することとしたい。**